

2017年10月26日

各位

株式会社 三井住友銀行

鉄建建設株式会社に「S M B C なでしこ融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、鉄建建設株式会社（代表取締役：林 康雄）に「S M B C なでしこ融資」を実施致しました。

「S M B C なでしこ融資」は、融資実行時にお客さまの女性活躍推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、現状の取組状況の分析や今後の課題、その課題への取組事例などをご提供させて頂く融資商品です。

今回対象となりました、鉄建建設株式会社に対する診断結果は、今後、女性活躍が期待できる「女性活躍のグロース企業」となりました。

特に、鉄建建設株式会社では、以下のような取組と実績を有しておられます。

「中期経営計画 2015～2017」において、3つの経営戦略のうちの1つに「人材力の強化」を掲げ、「女性をはじめ全ての社員が生き生きと働ける環境」をつくるための施策として、「女性の採用強化・積極的な登用」、「女性のライフイベントを考慮した各種制度の検討・実施」等を明文化。

柔軟な働き方の実現に向けて、まとまった休暇を計画的に取得しやすくするための「計画有給休暇制度」の導入と、育児・介護と仕事が両立できるよう、法定を上回る水準で休業・休暇を制定。また現場も含めモバイル端末の付与等により、業務効率化の取組を実施。

平成26年より、ダイバーシティ推進ワーキングを実施。本社や支店などから女性社員が参加し、現場のニーズをきめ細やかに把握したうえで、女性活躍推進に向けた施策を検討。

さらに同社では、今後のさらなる女性活躍推進に向け、経営トップが

- ・性別等に関係なく、働きがいのある企業風土を構築し、持続的な成長の基盤とする。
- ・特に現場で働く女性技術職社員の比率が低く、人数の増員と定着促進のための施策を重点的に行う。

と宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、

- ・平成33年3月までに、積極的に女性を採用し現員61名（2016年4月時点、総合職・一般社員）から倍増させる。
- ・平成33年3月までに、女性管理職（課長級以上）を現員7名（2016年4月時点）から倍増させる。
- ・平成34年3月までに、長時間労働是正のため、作業所の4週8休の定着を図るとコミットしておられます。

三井住友銀行では、「S M B C なでしこ融資」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。



女性が働きやすい職場をめざし、  
様々な活動を展開

( )“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。